



ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区

Governor Today

ガバナートゥデイ

ガバナースローガン 支え合おう



ご挨拶

2025～2026年度 332-C 地区ガバナー

齋藤 孝一 (多賀城 LC)

Message

いよいよ、ガバナー公式訪問が4R1Zを皮切りにスタートしました。

9月9日(火)、石巻グランドホテルを会場に、4R1Zに所属する8クラブ、3支部、平日の昼間にもかかわらず多くのライオンの皆様にご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

初めの三役ミーティングではガバナーとしてご挨拶を申し上げます。その中で、地区として今年度取り組む六つの重点方針についてお話しをさせていただきました。

一つ目は「会員増強」です。1つのクラブの結成、新会員142名の入会、純増25名という目標を掲げました。これは単なる数値ではなく、未来への奉仕を掲げ、地域に活力をもたらす基盤づくりであります。

二つ目は「指導力育成」です。ゾーン・チェアパーソン全員に研修参加100%を目指していただきます。リーダーの力が強まることでクラブは活性化し、地区全体が、より力強い歩みを進められます。

三つ目「地域奉仕活動の充実」です。クラブが主体となり、それぞれの地域に根ざした実践を積み重ねることが、地域社会から信頼され、必要とされるライオンズの姿につながります。

四つ目「世界奉仕活動の充実」です。ここでは

LCIF(ライオンズクラブ国際財団)への理解と協力を特に重視しております。LCIFは災害支援や医療援助、教育支援など世界規模で奉仕を展開していますが、その原点は「なぜこの献金が必要か」を一人ひとりが理解し、共感して取り組むことにあります。単なる義務ではなく、世界の仲間とつながり、困難に直面する人々を支える確かな手段として、LCIFへの支援を深めていきたいと考えております。

五つ目「災害対策」です。被災地の経験を持つ私たちの地区だからこそ、迅速で的確な対応ができる体制を整える必要があります。備えを怠らず、常に行動できる準備を進めてまいります。

六つ目に「広報活動」です。紙媒体での情報発信を完全に廃止し、ホームページや公式LINEを活用したリアルタイムでの広報体制を構築します。変化の早い時代だからこそ、タイムリーな情報共有を重視し、会員同士のつながりをより強固にしていきます。以上六つの柱を実践し、地区の発展を図ってまいります。

これから、県内6か所の会場をまわり、皆様に会える事を楽しみにして、日頃より皆様のお力添えに心から御礼を申し上げますとともに、ガバナーとして全力を尽くすことをここにお誓いいたします。

斎藤地区ガバナー表敬訪問

齋藤 正美 石巻市長 訪問

9月9日火曜日、ガバナー公式訪問合同例会の前、13時より石巻市庁を訪れ、齋藤正美石巻市長とお会いしてきました。ガバナー就任の挨拶と、日頃からのアクティビティへのご協力の感謝、また平和ポスターコンテスト等への県内有数の積極的なご協力への感謝を伝えて、和やかに面談させていただきました。



伊藤 康志 大崎市長 訪問

2026年9月12日（金）、ライオンズクラブ国際協会332-C地区ガバナー、幹事、会計の三役は、同日午後に予定されている5R1Z公式訪問に先立ち、午前11時より大崎市庁を訪問し、伊藤康志大崎市長と懇談いたしました。席上では、本年度の重点目標や地区活動の基本方針について説明し、地域社会における奉仕活動の役割を共有しました。市長からも地域連携の重要性に関するご理解をいただき、今後の協力関係の深化を確認する機会となりました。



332-C 地区ガバナー公式訪問合同例会 石巻グランドホテルにて盛大に開催

2025年9月9日(火)/石巻グランドホテル

■三役ミーティング

9月9日(火)、石巻グランドホテルを会場に、ライオンズクラブ国際協会332-C地区公式訪問が開催されました。午後1時30分より三役ミーティングが始まり、冒頭、キャビネット副幹事 佐藤大Lによる出席者紹介に続き、ガバナー挨拶が行われました。ここでは本年度の基本方針が簡潔に示され、地区として共有すべき方向性が語られました。その後、幹事による現況報告、会計報告、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーの挨拶、ゾーン・チェアパーソンとの挨拶と続けました。引き続き、三役ミーティングが行われ、クラブ運営に関する具体的な議論が交わされました。最後に委員会からの報告がなされ、会議は滞りなく終了いたしました。

■ガバナー公式訪問合同例会

三役ミーティングに続き、公式訪問合同例会が厳かに開催されました。石巻めぐみライオンズクラブ会長 澁谷浩司Lの開会宣言と開会ゴングによりはじまり、ガバナーおよびキャビネット構成員の紹介の後、ガバナー挨拶があり、三役ミーティングで示された基本方針が改めて全体に共有されました。ガバナーは、会員増強や指導力育成、地域と世界での奉仕、災害対応、そして新たな広報の取り組みなど、地区の重点課題を示し、全員の協力を呼びかけました。

続いて、LCIF 献金ならびに合同アクティビティ基金に協力されたライオンへの表彰が行われ、ガバナーよ

り壇上で感謝状が贈呈されました。クラブ三役の表彰、ガバナーアワードの贈呈も行われ、全員の功績が称えられました。また、新たな仲間を迎える入会式も執り行われ、温かい拍手の中で新会員が紹介されました。

■奉仕の精神を未来へ

この日の例会では、クラブ幹事からの報告も行われ、全体の進行は終始円滑に進められました。閉会ゴングをもって合同例会は幕を閉じましたが、参加者にとっては、改めて「ライオンズの結束」と「ウィ・サーブの精神」を確認する意義深い時間となりました。

今回の公式訪問は、地区の仲間が共に集い、互いの活動を支え合うことで新たな一歩を踏み出す場となりました。ガバナーが掲げる基本方針は、会員増強、新クラブ結成、新会員142名・純増25名の具体的目標から、指導力育成の徹底、地域奉仕・世界奉仕の実践、LCIFへの理解を伴う支援、さらには災害対策と広報の革新に至るまで、多岐にわたります。紙媒体からホームページや公式LINEによるリアルタイム発信へと舵を切る方針も示され、時代に即したクラブ運営のあり方が共有されました。

石巻での公式訪問を通じ、地区としての連帯感が一層強まりました。これからも会員一人ひとりが力を合わせ、奉仕の心を未来へとつなげてまいります。



斎藤ガバナーによる報告



中館キャビネット幹事による報告



笠松キャビネット会計からの報告

4R1Z

9月9日(火)
石巻グランドホテル

HOST CLUB
石巻めぐみ野 LC

1Z ZC/L. 澁谷浩司 (石巻めぐみ野 LC)

ガバナーアワード

石巻 LC	L. 田中 宏和	石巻アゼリア支部	L. 山崎恵久子
東松島 LC	L. 小山 修	石巻中央 LC	L. 阿部 浩
女川 LC	L. 山田 廣康	石巻日和 LC	L. 松田 弘美
石巻桃生 LC	L. 岩倉 宏	石巻河南 LC	L. 狩野 光明
石巻めぐみ野 LC	L. 伊藤 清彦		

LCIF MJF 1,000 \$ 献金

L. 井上 一 石巻 LC L. 佐藤 政治 石巻河南 LC



第1副地区ガバナー 今野 交 L



第4R第1ゾーンチェアパーソン 兼 GET 委員会副委員長 伊藤清彦 L



石巻日和 LC 松田弘美 L



石巻めぐみ野 LC 会長 澁谷浩司 L



国歌斉唱



第2副地区ガバナー 内田洋一 L



5R1Z

9月12日(金)
グランド平成

HOST CLUB
古川 LC

1Z ZC/L. 斎藤英一 (古川 LC)

ガバナーアワード

古川 LC L. 庄司 崇史	栗原若柳 LC L. 菊地 広志
古川中央 LC L. 佐々木 充	志波 姫 LC L. 佐々木 弘
涌谷 LC L. 浅野 健	築館 LC L. 熊谷 裕子
古川古城 LC L. 大江 靖	加美 LC L. 浅野 裕志

LCIF MJF 1,000 \$ 献金

L. 高橋 伸嘉 古川 LC



2R1Z

9月15日(月)
増田公民館

HOST CLUB
名取 LC

1Z ZC/L. 佐々木圭亮 (名取 LC)

ガバナーアワード

名取 LC L. 菅井 誠次	亘理 LC L. 丸子 正幸
岩沼 LC L. 内田 洋一	柴田 LC L. 大槻 利雄
大河原 LC L. 井上 薫	丸森 LC L. 霜山 進
山元 LC L. 大内 宏之	

LCIF MJF 1,000 \$ 献金

L. 永富 淳次 名取 LC	L. 佐々木圭亮 名取 LC
L. 洞口 勝則 名取 LC	L. 黒崎 敏郎 亘理 LC
L. 内田 洋一 岩沼 LC	



小児がん支援活動

「いわぬま市民夏まつり」にてレモネードスタンド

2025年8月23日(土) 13:00～/岩沼市役所前市民広場

朝から30℃越えの猛暑のなか、恒例の岩沼ライオンズクラブアクティビティ「青空テント市」にて、ビール、やきとりの販売を行っておりました。今回はさらに、「ふれあい広場」エリアにて岩沼ライオンズクラブの活動PRブースを設け、ライオンズのアクティビティを市民の方々に紹介いたしました。ブース内ではアクティビ

ティのPRとともにレモネードスタンドを設置。小児がん支援、障がい者支援のため、ドネーション活動を行いました。こちらの活動にはWYPT委員会委員長の佐藤わか子さんも応援に駆けつけてくださいました。

地域において、ライオンズクラブの存在価値の発信ができた夏祭りとなりました。



仙台青雲ライオンズクラブ IMA 支部主催 異業種交流 × チャリティー交流会 vol.5

2025年8月30日(土) 18:00～/定禅寺ヒルズ23階 貸会議室

先日は、仙台青雲ライオンズクラブ IMA 支部主催で「異業種交流×チャリティー交流会 vol.5」を開催しました。

今回のテーマは「婚活から学ぶコミュニケーションスキル」。価値観の違いをどう受け止め育てていくか、そして「聞く力」が人に安心感を与えることを、ミニ講義やワークを通して体験していただきました。

参加者の方からは「ワークを重ねる中で、“ドリルを買いにきた人が欲しいのはドリルではなく『穴』である”という言葉思い出しました。公私ともに相手の上辺

だけをなぞることが当たり前になっていたな、と我が身を振り返る良い機会になりました」や「相手に興味を持つことを大切に、今日のことを今後に活かしていきたいと思います」とのご感想いただき、とても嬉しく感じております。

その後の懇親会では、お酒を片手に世代や職業をこえて語り合い、笑顔の絶えない時間に。

IMA 支部では、今後も「学び」「出会い」「社会貢献」を自然につなげられるような交流の場をお届けしていきたいと思います。次回もぜひ気軽にご参加ください！



ライオンズクエスト ライフスキル教育ワークショップ開催

2025年9月7日(日)・8日(月)/東北福祉大学

2025年9月5日、文部科学省から次期学習指導要領の改訂に向けた「論点整理」が発表されました。その中では、「多様な個性や特性、背景を有する子供が多くなっている実態に向き合うとともに、こうした多様性を個人及び社会の力に変える観点から、一人一人の意欲が高まり、可能性が開花し、個性が輝く教育の実現を目指すことの大切さが」ということが指摘されています。

現在小学校(35人学級)には、学習面または行動面で著しい困難を示す児童が3.6人(10.4%)、不登校傾向がある児童が4.1人(11.8%)、不登校の児童が0.7人(2.1%)、日本語を家であまり話さない児童が1人(2.9%)、家にある本の冊数が少なく、学力の低い傾向が見られる児童が12.5人(35.6%)いるとされています。つまり35人中20人以上が何らかの支援を必要としているのです。

これまでの学校が行ってきたティーチ(一方的に教える)方式の教育にはすでに限界が来たといえます。これ

からの社会を担っていく子どもたちに「ライフスキル」を身に付けてもらうことは、現在日本の重要課題と言えます。

そのような中、本学では14回目となるライフスキル教育のワークショップを開催しました。これまでの参加者は延べ400名弱になります。今回も外部参加者として高等学校教諭3名、認定こども園から1名の参加者がありました。

学生にとっては、日々子どもの指導や支援に当たっている、現職の方々の多様な経験と課題意識に触れ、大きな刺激を受けることができました。

はじめに土見大介青少年健全育成委員長から、ライオンズクラブについて、学生に期待すること、今回の学びを今後の学校生活や子どもを指導する際に活用してほしいという挨拶をいただきました。また青少年育成支援フォーラム(JIYD)馬淵英晃事務局長も駆けつけて下さり学生の学びを応援していただくことができました。



土見委員長挨拶



講師の横田先生から 参加者はまだ不安顔



ぬいぐるみQちゃんを使っでの自己紹介 表情が柔らかくなりました



時計回りにウエーブ

■学びの成果「参加者からの一言」

学びの要点 (What)・学びと発見 (So what ?)・使ってみよう (Now what ?) や過去と現在と未来の繋がりが子供の成長となり自己肯定感を育み、子供自身の存在感となることを改めて自分自身の学びとなりました。ゲームを通して仲間作りやリーダー・発表報告・記録・道具準備・時間と仕事の効率化をはかれることなどとてもわかりやすく考え、動くを繰り返すことで大人でも楽しめる内容でした。ライオンズクエストを是非本園でも行いたいと改めて考えました。本日は、本当にありがとうございました。そして、素晴らしい学生の方々の一生懸命な姿はとても刺激になり、指導者としてもっと成長したい、上手くなりたいと感じました。

(認定こども園)

本日は貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。非認知能力の育成が叫ばれて久しいですが、その具体に迫る実践は聞くものの、体系化されたものはなかったように思います。その実践の礎となるものを今回体験できたように思います。学校種を問わず、実践に活かせるものであると感じましたので、今回いただいた資料を実際に現場でも活用していこうと考えております。また、フレッシュな学生さんたちの学びの姿勢を見て、数年前の卒業生たちと同じ年代の子達がこれだけ頑張っているのかと何だか嬉しい気持ちになりました。貴重な機会をありがとうございました。またよろしくお願いいたします。(高等学校)

学級開きや、SSTとも関連付けながらコミュニケーション能力を向上させるためのワークショップに利用していきたいと思いました。また、エナジャイザーを話し合いの前のアイスブレイクなどに利用することで、声を出して良い雰囲気づくりや良好な人間関係を築くことにつながると感じました。本プログラムは、高校生にも、

発問の仕方を工夫することで、進路指導等とも関連付けられるので、今後、様々な場面で活用していきたいです。

(高等学校)

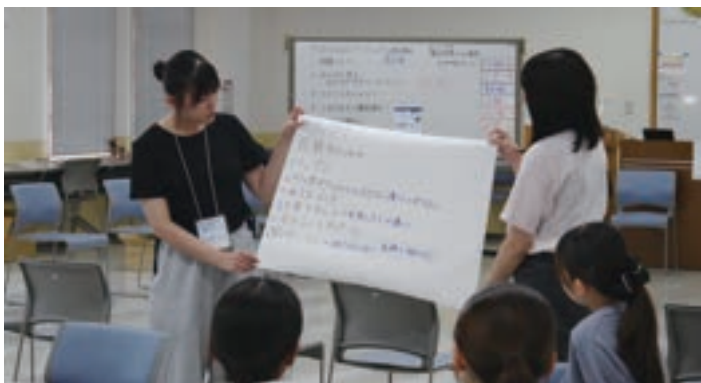
参加するまでは何をするのか分かりませんでしたが、基礎編に参加してみて授業の構成について、アイスブレイクの方法、単純で単調になってしまいがちなチーム決めなどにもゲーム形式を取り入れることで面白く変えることができると学びました。

実際にワークショップに参加していく中で、立ち止まって考えるとはなにか？目標はどのように立てるか？など普段あまり気にしないようなことを丁寧に筋道立てて考える機会を提供していただけたと感じ、what, so what, now whatなど物事を整理する考え方は教育現場のみならず日常生活でも活用できると感じ、今後どのように活かしていけるか心が踊ると感じました。実践編でも様々な学びに貪欲に向き合っていきたいと考えています。実りのある1日を過ごす機会をいただきありがとうございました。(2年生)

今回初めてこのようなワークショップに参加して、初めは何をやるのか想像がつかず、ワクワクよりも不安のほうが大きかったのですが、振り返りの大切さを学び、自分が教員になった際に実際に取り組みたいと思いました。また、初めて模擬授業をして、実態に働いている高校の先生方と一緒に計画を立てて、たくさんアドバイスを頂き、発想をお借りして、難しかった部分も多いですが、上手くできて良かったです。

今回は本当にありがとうございました。(1年生)

一日目のライフスキルの授業で振り返りを大事にすることを再認識した。学習では、①ポイントを見つける②自分の中の知識とつなげる③新たにやってみる④やってみて感じたこと、反省して改善する。何回も繰り返



SNSへの投稿について考える



模擬授業（学生から：やっぱり現職の先生はうまいなあ）

し言われ続けたことだが、自分の生活に取り入れるとするなら、まず家に帰ったら速攻復習、勉強30分でもやってみる。達成できたらやりたいことをやる。この繰り返しであれば、自然と苦なくモチベーションを保って出来そうだったので今日からやっていきたい。

これから先たくさん話し合いがあると思いますが、このワークショップを通じて学んだことは、話をしている側はみんなの反応がないと授業そのものにやりがいやモチベーションが持てず、授業やりたくないなと負の感情が出てくる。

私は今回実践編で授業をしたが、反応があったおかげではじめて授業って成立するものだなと感じた。双方が対等に教える教えられるの関係であることが本質だと気づいた。少人数の会議ならできそうだけど大学の授業のような大人数だとまだ難しい。

意見を求められているならば積極的に自分が先駆者となり、沈黙から活発な意見の場になるようにたくさん発言したい。反応に付け加えて、自分の振り返りは勿論、他者の頑張りにフィードバックできたら心強い味方を感じるだろうし、客観的にみてる仲間がいると集団としても馴染めるのかなと思った。

情けは人のためならずという言葉があるが、他者の考えを率直に向き合って賛成したり反対したりすることは自分が普段感じてないことに気付ける機会だから



ワークショップのまとめ 賞賛のお皿 相手のよいところを書いてあげる

今度からは関心を持って多角的に物事を考えて意見を言っていきたい。夏休みに周りより成長できる場を設けていただいていたありがとうございました!! また参加希望しています!!
(1年生)

参加者の「ライオンズクエストって、はじめは何をするのか分からなかった」「不安だった」という感想には担当者として反省させられました。自分ではワークショップの内容がよく分かっているつもりでしたが、それを初めて参加する人、経験する学生にうまく説明する、ライフスキルの大切さを分かりやすく伝える方法については、今後さらに工夫していかなければならないと思いました。
(石巻日和LC 大西孝志)



お疲れ様でした この学びを授業や教育実習に生かします

会長スローガン・クラブ三役紹介

2025-2026 Lions Clubs International 332-C

会長 佐藤 正章 幹事 遠藤 雅人 会計 木村 博幸  一致団結、 届けよう笑顔の奉仕、 いただく幸せの笑顔	仙台LC	会長 齋藤 裕子 幹事 山路 謙一 会計 中島 房子  変革を楽しもう We serve !	仙台エコーLC	会長 伊藤 孝 幹事 山口 克宏 会計 山口 慶子  難病支援のために We Serve	仙台こだま支部	会長 中居 健一郎 幹事 遠藤 健 会計 田畑 英雄  Let's Try ! 新たな挑戦へ We Serve !	仙台五城LC
会長 佐藤 富美子 幹事 齋藤 希 会計 中村 みどり  広げよう 幸せのバトン ここにある優しさが 未来を育てる	仙台ZUNDAガールズ支部	会長 湯澤 一也 幹事 中村 厚 会計 湯澤 みどり  和・楽・自然の奉仕の心	仙台宮城野LC	会長 佐藤 裕宣 幹事 寺島 信弘 会計 鎌田 正孝  『助け合い 支え合い 共に成長』 ～ We Serve ～	仙台いずみLC	会長 伊藤 俊一 幹事 木口 順子 会計 阿部 嘉弘  力を集め 奉仕でひろげる 笑顔の輪3	仙台東LC
会長 菅野 郁子 幹事 遠藤 誠 会計 鈴木 均  ウェルビーイング (well being) を 叶えるために	仙台青雲LC	会長 菊地 綾乃 幹事 遠藤 おり恵 会計 齋藤 あさ美  つながりは、 いつだって「今」から。	仙台IMA支部	会長 阿部 千晴 幹事 百々 彰 会計 後藤 勇夫  友愛・平和・自由 We Serve !	仙台泉中央LC	会長 工藤 優菜 幹事 坂本 救 会計 淀野 結花  NO LIMIT ～みんなのために活動を～	仙台東北文化学園大学支部
会長 足立 智昭 幹事 笹原 毅 会計 遊佐 美由紀  ともに働き、ともに喜ぶ、 笑顔あふれる ライオンズクラブへ	仙台青葉LC	会長 菊川 徹 幹事 武田 加奈子 会計 千葉 浩  奉仕活動で Well-being	仙台広瀬LC	会長 竹下 直義 幹事 高橋 淳 会計 小野 寺信介  友情と奉仕	仙台秋LC	会長 弘岡 和代 幹事 高橋 陽子 会計 竹下 小百合  強くしなやかに、 心あわせて、We Serve	仙台結支部
会長 庄子 清一 幹事 浦野 京亮 会計 千葉 和宏  楽しい例会、 みんなで奉仕	仙台杜LC	会長 遠藤 一男 幹事 須賀 秀勝 会計 富樫 利和  皆で奉仕の輪を広げよう	仙台シティLC	会長 佐藤 なな子 幹事 江尻 恵代 会計 狩野 恵子  子どもたちの 明るい未来へ We serve	仙台わかば支部	会長 伊藤 剛 幹事 小藤 弓 会計 高橋 直一  飛べ・繋ぐ We Serve	仙台セブンツリーLC

会長スローガン・クラブ三役紹介

会長
幹事
会計
大久保主計
菅井誠次
洞口智寛



名取LC

仲間を増やし、
奉仕の輪を広げよう
We Serve

会長
幹事
会計
渡辺健一
青田秀明
菊地一男



亙理LC

みんなで楽しく！
We Serve！

会長
幹事
会計
菅野浩史
島貫雄一
横山大輔



岩沼LC

広がる親睦
つながる奉仕！
We Serve

会長
幹事
会計
平間奈緒美
平間幸弘
大槻利雄



柴田LC

やさしさを力に
次世代へつなぐ奉仕を

会長
幹事
会計
小形真
佐藤亮一
菊池昭人



大河原LC

未来に向かって
ウィサーブ

会長
幹事
会計
大河内今朝治
八島克之
小野一宏



丸森LC

明日に向って
ウィサーブ

会長
幹事
会計
大和晴美
佐藤光弘
高橋良一



山元LC

「もっと知ろう、ライオンズ」

会長
幹事
会計
鹿島博文
富田恭央
古山孝夫



蔵王LC

ふるさとの未来のために
We Serve

会長
幹事
太田富造
太田律子



蔵王サクラ支部

We Serve

会長
幹事
会計
柴田裕文
小原毅
佐々木進



川崎LC

明るく 楽しく 元気で
ウィサーブ

会長
幹事
会計
富岡和弘
箱崎ひとみ
秋山きみ子



白石益岡LC

薬乱防止 21 年
We サーブ

会長
幹事
会計
阿部薫
鳥島莊一
小林茂



村田LC

心に響く奉仕と例会



2025年8月 マンスリーレポート集計表

会員増強状況

	期首	前月末	入 会		退 会		今月末	比 較	
			当月	累計	当月	累計		期首	当月
クラブ数	55	55	0	0	0	0	55	0	0
会員数	1,454	1,460	2	19	12	22	1,450	-3	-10

アクティビティ活動報告

項 目	件 数	実 績
金額アクティビティ	42件	1,042,695円
労力アクティビティ	15件	219.0H
献血アクティビティ	3件	動員数 164人 65,400cc
使用済み切手		0枚
献眼登録アクティビティ		0人
献眼アクティビティ		0人
献腎登録アクティビティ		0人
献腎アクティビティ		0人

リジョン別会員数

R	Z数	クラブ数	平均出席率 %	R	1 Z	2 Z
				会員数	会員数	会員数
1	2	14	60.2	438	266	172
2	2	11	70.9	205	127	78
3	1	9	77.4	209	209	
4	2	13	58.0	434	217	217
5	1	8	69.8	164	164	
計	8	55	67.3	1,450	983	467

ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区 会員の皆様へ

アクティビティレポート記事募集のお願い

地区情報誌「アクティビティレポート」では、会員の皆様からの寄稿を募集しております。今回は、各クラブで行われているアクティビティに関する記事を募集いたします。

日頃の活動内容、地域社会への貢献や参加者の声など、貴クラブのアクティビティを具体的に紹介ください。写真も合わせてお送りいただくと幸いです。

皆様からの活動報告は、「アクティビティレポート」をより充実させ、地区内の情報共有や相互啓発に繋がる貴重な資料となります。ぜひ、貴クラブの活動を広く発信してください。

募集内容

テーマ：各クラブのアクティビティ

内 容：活動報告、地域社会への貢献、参加者の声など

文字数：300字程度

写 真：1～2枚程度（高画質のもの）

応募先：キャビネット事務局へメールまたは郵送にて

メール：332-c@lions-clubs.jp

皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。お送りいただいた写真、文章についてはホームページにも掲載させていただきます。

※肖像権の関係上、写っている方の確認がとれるものをお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会332-C地区 2025年-2026年度 地区運営方針

ガバナースローガン

支 え 合 お う

アクティビティスローガン

コミュニケーション溢れる332-C

332-C 地区に求められる行動目標

1. 会員増強に関する地区目標設定

- ・ ミッション1.5を支援するため、私は地区ガバナー任期中に、地区チームと協力して 地域に定められた会員拡大ターゲット値の達成に取り組む。
- ・ 当地区に定められた会員拡大目標数値を達成する。
- ・ 私たちのチームでは、下記ターゲット値に加え、
 - ①チャーターメンバー各20名以上の新クラブをさらに1つ結成する。
 - ②地区内のクラブは、既存のクラブにさらに30名の新入会員を入会させる。
 - ③会員をさらに5名純増させる。

【ターゲット値：新クラブ1、新会員142名、会員純増25名】

2. 指導力育成に関する地区目標設定

- ・ 知識の豊かなサーバント・リーダーは、各地域社会で新会員を呼び込み、ライオンズとレオが充実した会員体験を得られるようにする。私は地区ガバナー任期の第1四半期に、地区チームと協力してクラブ役員研修とゾーン・チェアパーソン研修の推進に取り組む。
- ①私たちのチームは、ゾーン・チェアパーソンの100%がゾーン・チェアパーソン研修に参加するようにする。
- ②当地区は、クラブ役員（会長、幹事、会計）100%がクラブ役員研修に参加するようにする。
- ③私は、地区GLTコーディネーターがLearnの研修管理機能を使って、完了したゾーン・チェアパーソン研修とクラブ役員研修を確実に報告するよう働きかける。

【Learnの研修をZC、クラブ三役に任期前に受けて頂きたい。また、できれば、地区内メンバーにライオンポータルが学べる場を設けて頂きたい】

3. 奉仕事業に関する地区目標設定

- ・ クラブの奉仕のインパクトへの認識を高めて会員候補を呼び込むため、私は地区ガバナー任期中に、地区チーム

と協力してライオンズクラブとレオクラブの奉仕報告率の向上に取り組む。

- ①私たちのチームは、地区報告サービスに参加するライオンズクラブとレオクラブの100%を確保する。
- ②私は、地区GSTコーディネーターが適時に奉仕を企画して報告することの重要性を訴えていくよう働きかける。

【奉仕活動報告はクラブが国際協会にライオンポータルから直接報告するように求められている。各クラブに報告方法を改めて周知する必要がある。】

4. LCIFに関する地区目標設定

- ・ 会員オリエンテーションでLCIF（ライオンズクラブ国際財団）への寄付のインパクトに関する知識を高めれば、個人的な貢献と寄付を増やすことができる。
- ・ LCIFがその資金獲得目標を達成し、グローバルなインパクトをたかめることができるよう、私は地区ガバナー任期中に、地区チームと協力してLCIFへの支援に取り組む。
- ①私たちのチームは、地区内の個人寄付参加率を50%、地区内クラブの寄付参加率を50%高める。
- ②私は、ブロンズレベルのLCIF理事長メダル獲得を目指す。
- ③私は、LCIFに1000ドルの個人献金を行い、当地区キャビネットの20人のメンバーにLCIFへの個人寄付を行うよう求める。
- ④私は、地区内の資金獲得目標が確実に達成されるようにすることで、国際会長LCIF達成アワードの獲得を目指す

【会員一人100ドルのLCIF支援を目指している。寄付0のクラブをなくし、参加率100%を目指したい。地区の会員数×100ドルを基準（1,200人×100ドル）とする。キャビネット構成員、ZC以上のリーダー数がMJF個人寄付者になれるようにしたい。】

332-C 地区関連 10 月度予定表

日 程	行 事
10/ 1 (水)	仙台高砂LC CN40周年記念例会
10/ 7 (火)	第7回ガバナー公式訪問 (3R1Z)
10/24 (金) ～ 26 (日)	OSEAL フォーラム in 札幌

アクティビティレポートは
アクティビティ通信として
15日に発信致します。